

きずな



北九州市立折尾西小学校

学校だより 11月号②

令和元年11月20日(水)

校長 成重純一

ご観覧ありがとうございました

11月10日(日)に開催した学習発表会では、多くの保護者の皆様にご観覧をいただきました。歌唱、合奏、音読劇、手拍子によるクラッピング・ミュージックなどがありました。大勢の観覧者の前で発表することを得意とする子どももいますし、苦手な子どももいます。各担任は、一人一人の子どもが持っている力の違いに配慮しながら、指導に当たってきました。6年間で子どもたちが多様な表現を経験し、表現の喜びを味わうことができることを期待しています。



全てを把握できているわけではありませんが、多くの方が自分のお子さんの発表が終わったら席を立つなど、お互いに譲り合って限られたスペースでご観覧されていることを大変ありがたく思いました。ご協力に感謝申し上げます。

ご観覧ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

登下校の安全

青森・八戸市で12日、下校途中の小学生の女の子が後ろから中学生にカッターナイフで首を切られるという恐ろしい事件が起きました。14日には、本校の校区内で、登校途中の本校の子どもが不審者から声をかけられる事件も発生しています。万一の場合は、逃げたり大声を出したりすることを子どもたちに指導しています。このほかにも、登下校のときに寄り道をしないことや決められた通学路を通ることも大切です。

また、15日(金)には、折尾警察署と八幡西区役所の方が参加して、交通事故の危険性の観点から教頭と本校の通学路の点検を行いました。保護者の皆さんから寄せられた危険箇所を実際に見て回りました。通学路は、それぞれの学校の周辺の交通事情や人通りの多さなどを考慮して改善を加えられながら決まってきたものです。学校でも指導をしますが、ご家庭でも、自分の命を守るための正しい行動についてお話しされてみてください。

本校の役割

先週13日(水)に、九州女子短期大学の大学生12名による見学実習が行われました。併せて、九州共立大学から2名の学生が短期の教育実習として同日参加しました。

それぞれの学級で子どもたちと学習指導や給食を通して触れ合い、教育現場の様子を学んでいました。出身の小学校が教育実習や教育ボランティアを受け入れることが多いですが、他県出身の学生は、母校が遠いため、大学の近隣の小学校が受け入れることが多くなります。小学校側としては、学生が授業や作業の補助に入って大変助かっていますが、学生にとっても、貴重な教育現場を体験できるメリットがあります。地域の特性に基づく本校の役割です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。